

2025.10.25 第49回公開セミナー

塩竈市立病院の果たすべき役割

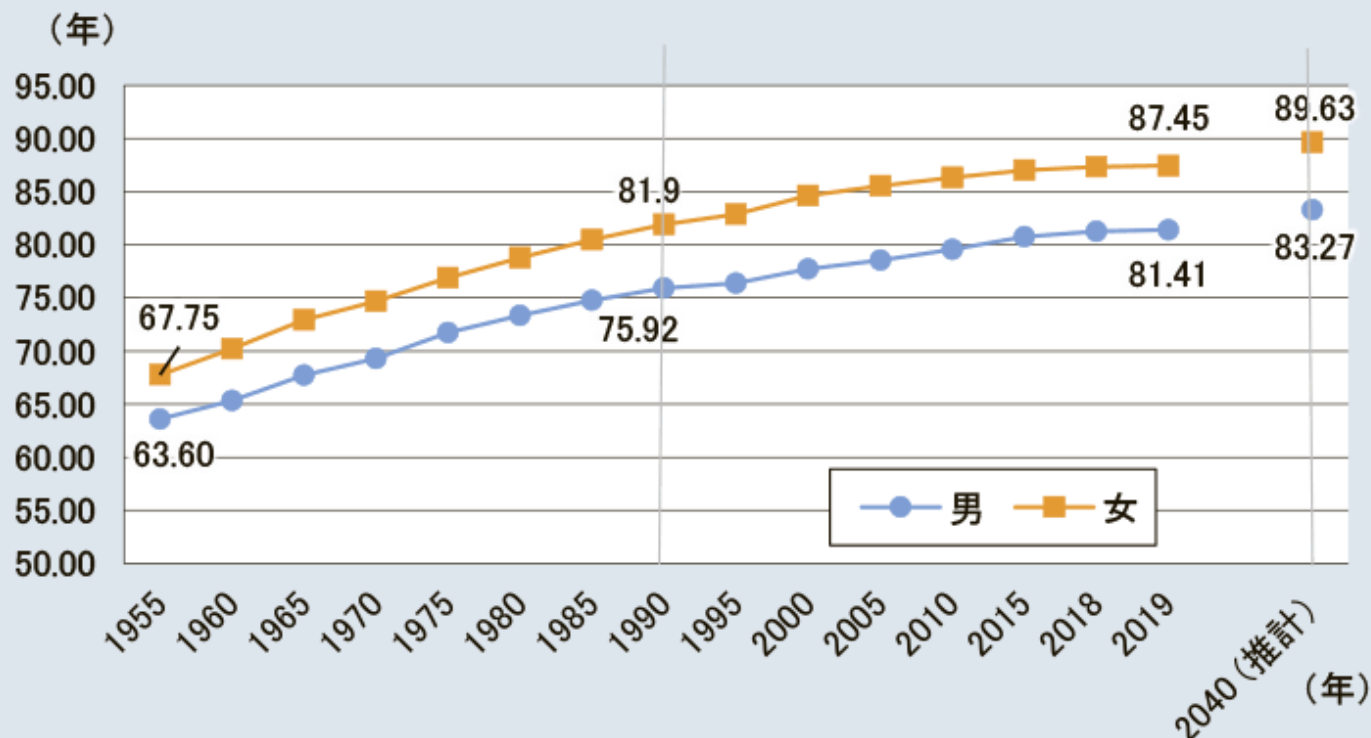
— 治し支える医療を提供する —

塩竈市立病院は10月1日に創立80周年を迎えました



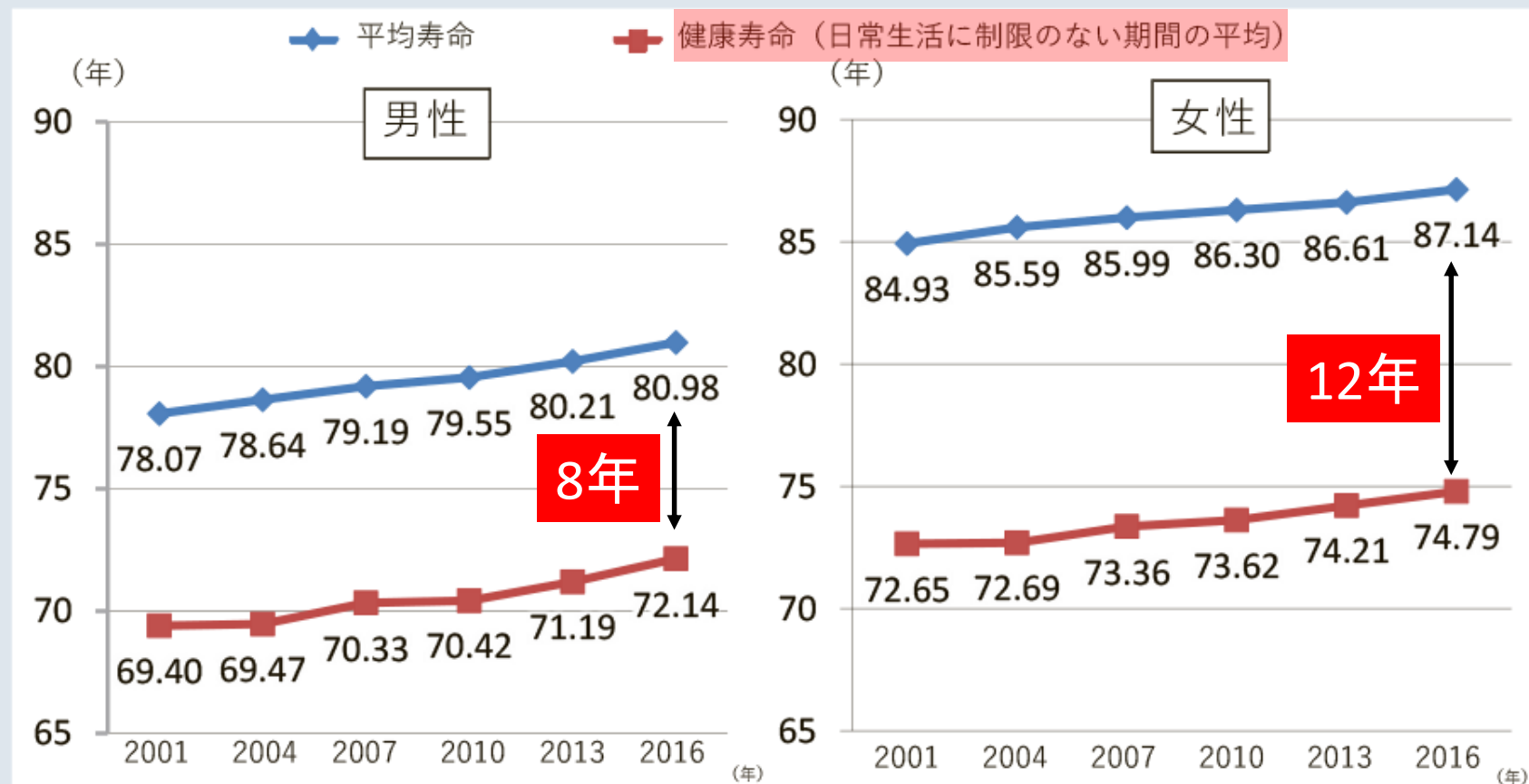
塩竈市立病院事業管理者
福原 賢治

図表 1-2-1 平均寿命の推移



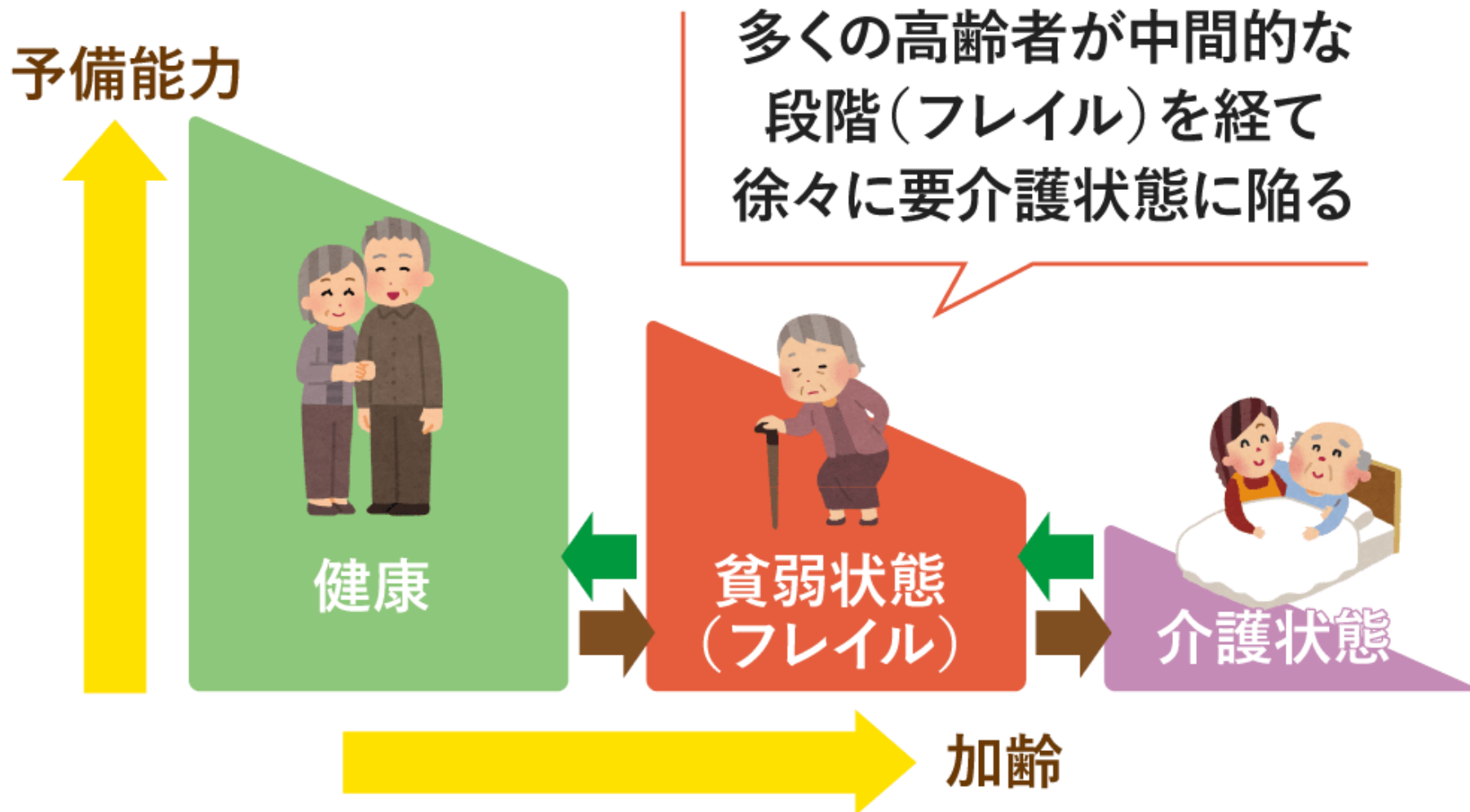
資料：2019年までは厚生労働省政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室「令和元年簡易生命表」、2040年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」における出生中位・死亡中位推計。

図表 1-2-6 平均寿命と健康寿命の推移



資料：平均寿命については、2010年につき厚生労働省政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室「完全生命表」、他の年につき「簡易生命表」、健康寿命については厚生労働省政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室「簡易生命表」、「人口動態統計」、厚生労働省政策統括官付参事官付世帯統計室「国民生活基礎調査」、総務省統計局「人口推計」より算出。

「**フレイル**」とは、高齢者において筋力や活動が低下している状態（虚弱）をいう。



フレイルとは

体重減少



疲労感



歩行速度の低下



筋力(握力)低下



活動量の減少



3項目以上該当

||
フレイル

1~2項目以上該当

||
プレフレイル
(フレイルの前段階)

フレイルの特徴

身体的側面

低栄養、嚥下・摂食機能低下、転倒など

精神的側面

認知機能の低下、意欲・判断力の低下、抑うつなど

社会的側面

社会交流の減少による孤立・孤独、孤食など

日常的なフレイルの対処法は

食事



運動



社会参加



病気をきっかけに
フレイルが急速に進行することがある

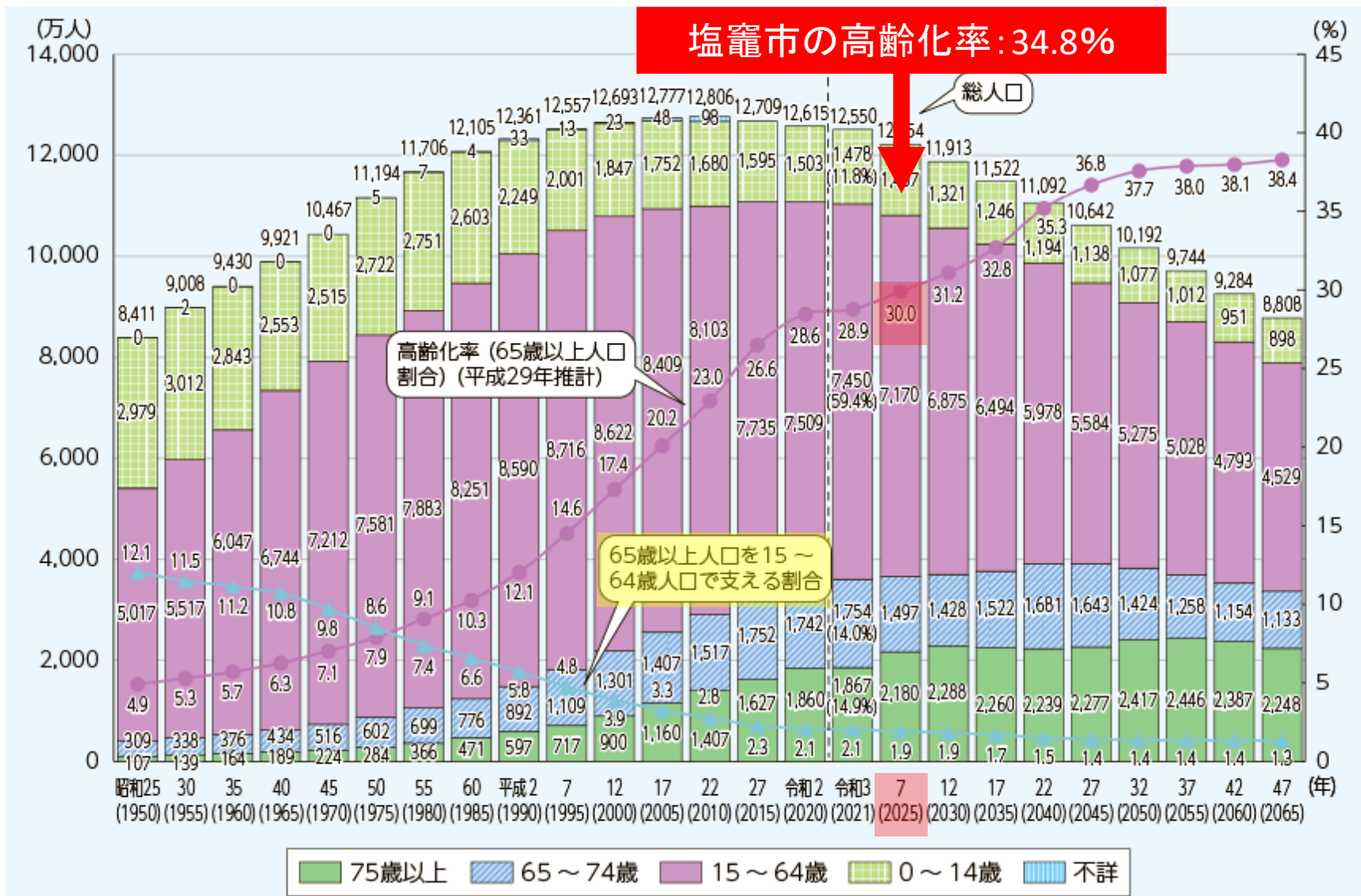


市立病院は、治療を終えた患者様が、
元の生活に戻れるよう支援する



治し支える医療

内閣府(2022)「令和4年版高齢社会白書」



塩釜市の高齢化率は、全国平均よりかなり高い

近隣市町の高齢化率

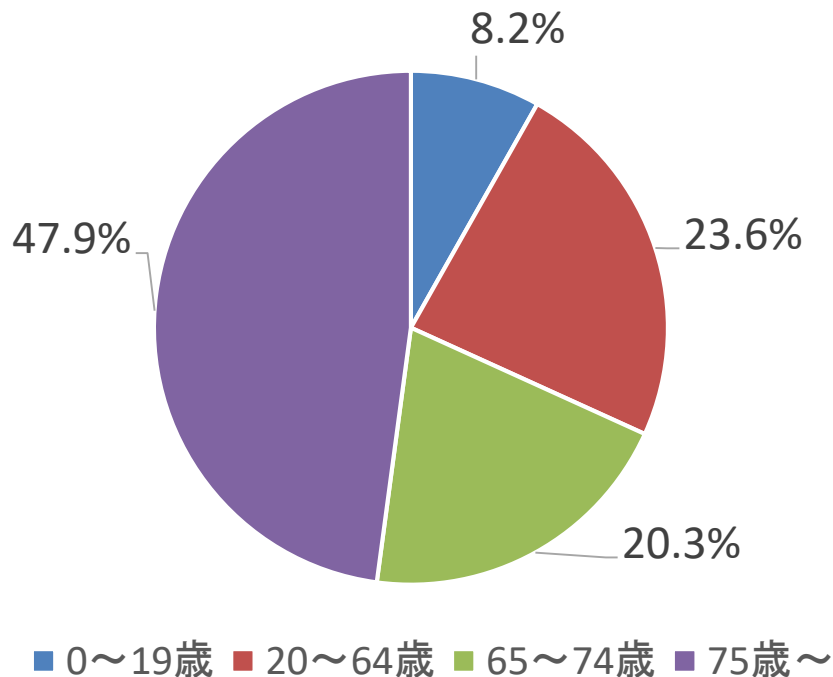
市町名	高齢化率(%)
松島町	40.5
塩竈市	34.8
七ヶ浜町	34.5
利府町	26.7
多賀城市	26.1
仙台市	25.4

全国平均
30.0%

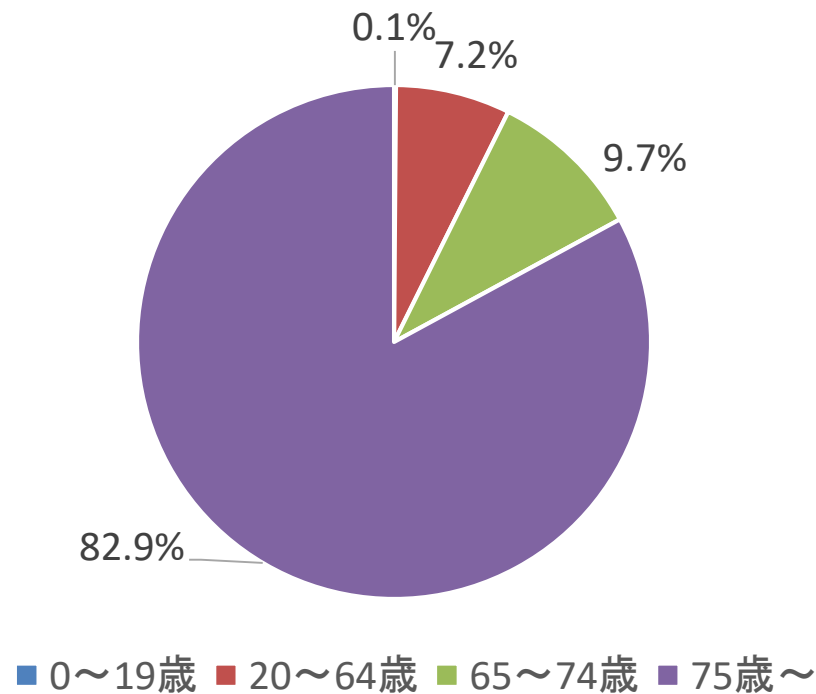
高齢化が進んだ地域と、これから高齢化が進む地域がある

診療実績(令和6年度)

外来患者数56,059人



入院患者数 41,549人



外来・入院ともに75歳以上の高齢者が多い
高齢の入院患者では**退院支援**が必要になる

介護認定
75歳以上:30%
85歳以上:60%

入院治療と退院支援

心筋梗塞、脳梗塞など
生命に関わる急病

重症患者
(中等症患者)

大病院

(中等症患者)
軽症患者

大腸癌、乳癌、胃癌、ヘルニア
痔、胆石症、虫垂炎の手術
高齢者の繰り返す肺炎、
心不全、尿路感染症

自宅退院

市立病院

転院

転院

外来
通院

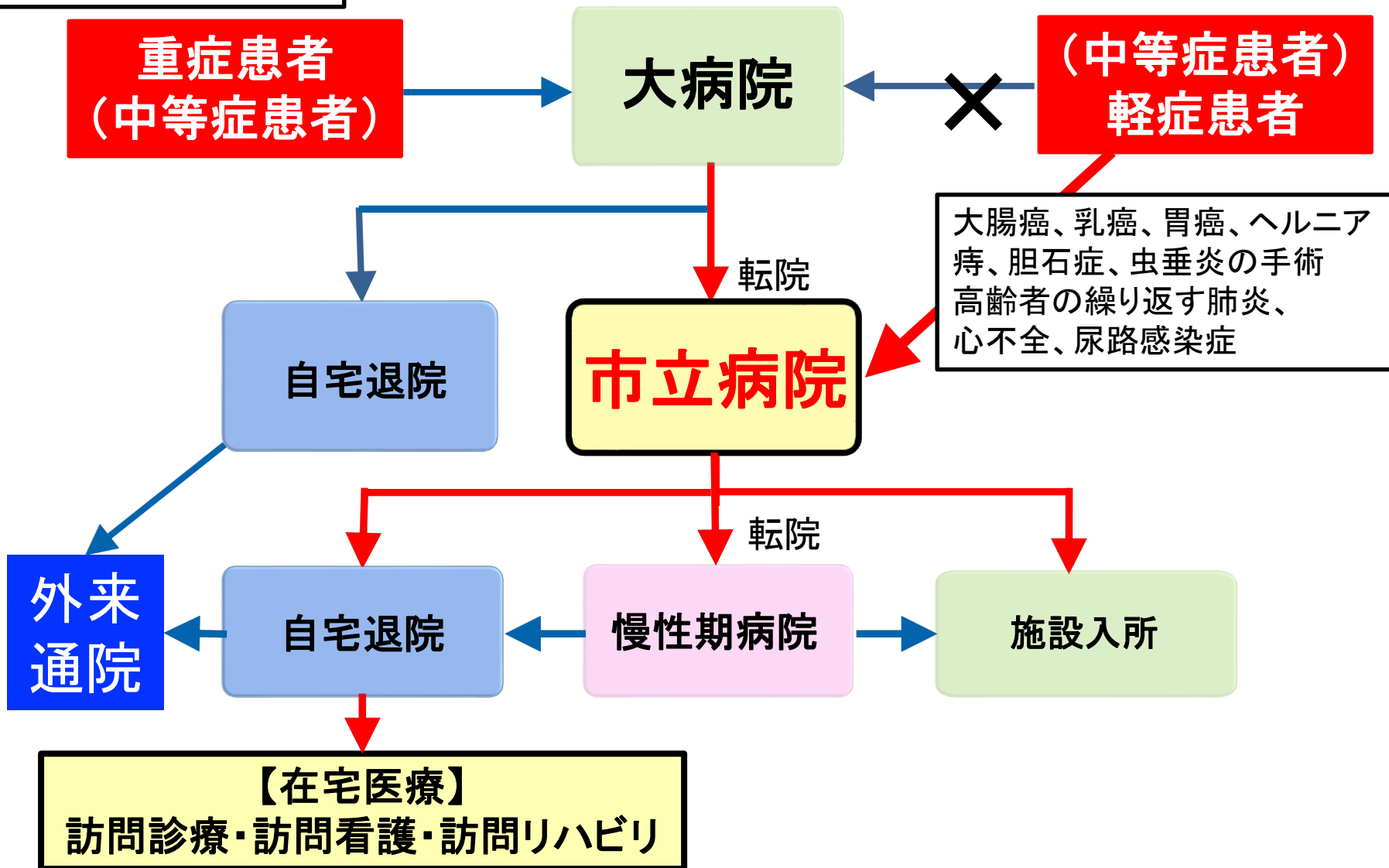
自宅退院

慢性期病院

施設入所

【在宅医療】

訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ



治し支える病床の数(2025/7/1)

		回復期病床	リハビリ	包括期
1	公益財団法人宮城厚生協会長町病院	135	90	24
2	独立行政法人国立病院機構仙台西多賀病院	100		
3	塩竈市立病院	90	0	90
4	2040年の超高齢者社会に向けて 準備が整った病院			0
5				40
6	国家公務員共済組合連合会東北公済病院	80		
7	医療法人松田会 松田病院	76	48	28

全国の病院が経営の危機に!!

- 近年の急激な物価高騰（医療に使う材料も）
- 物価高騰に対応して人件費が急激に増加
- しかし、医療費は公定価格（国が決めた価格）
- 全国一律で、物価上昇に対応していない
- 費用が増加しているのに、医療費は変わらない

（国や市からの）緊急支援が必要な状況

2040年に向けた新たな地域医療構想

病床の機能分化・連携を中心とした地域医療構想をバージョンアップし、85歳以上の高齢者の増加や人口減少がさらに進む2040年頃、さらにその先も見据え、全ての地域・全ての世代の患者が適切な医療を受けられる体制を構築できるよう、入院医療だけでなく、外来医療・在宅医療、介護との連携等を含む、医療提供体制全体の新たな地域医療構想を策定する。

現行の地域医療構想

新たな地域医療構想

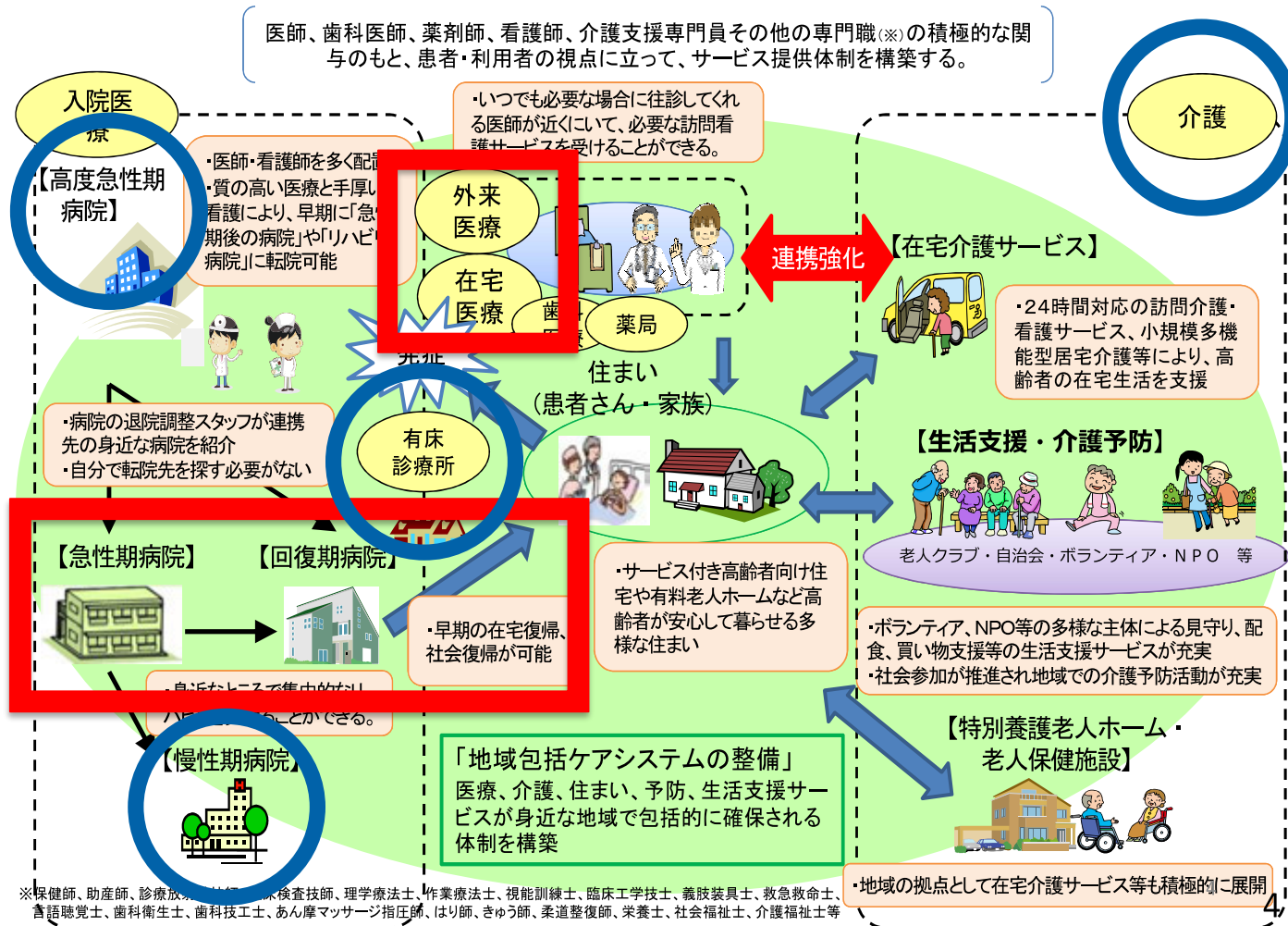
市立病院はしっかりと対応していきます

高齢化・人口減少社会において、

入院医療だけでなく、

外来医療・在宅医療、介護との連携が重要

塩竈市立病院が果たすべき医療は



市立病院にしかできない地域に必要な不可欠な医療を行う

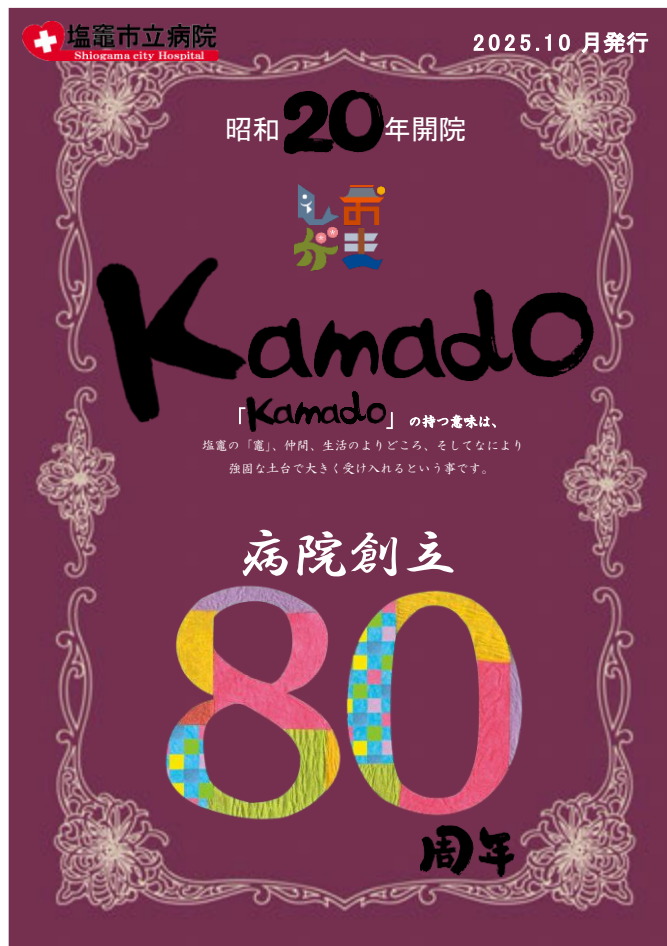
市立病院がこれからも 地域医療を支えていくために

1. これまでの診療（手術や検査）を継続します
2. 高齢の患者さんの治療に寄り添います
3. 極めて重症な患者さんは大病院に紹介します
4. 大病院からの治療を引き継ぎます
5. 退院支援をしっかりと行ないます

（自宅退院、在宅医療、施設入所、転院など）

塩竈市立病院は、様々な医療機能を持ち、
困った時に頼りになる病院を目指します

ご清聴ありがとうございました



かまど10月号には
病院創立80周年の特集があります。
是非、ご覧ください。

地域とともに考える病院のかたち

～その人らしい暮らしを守るために～

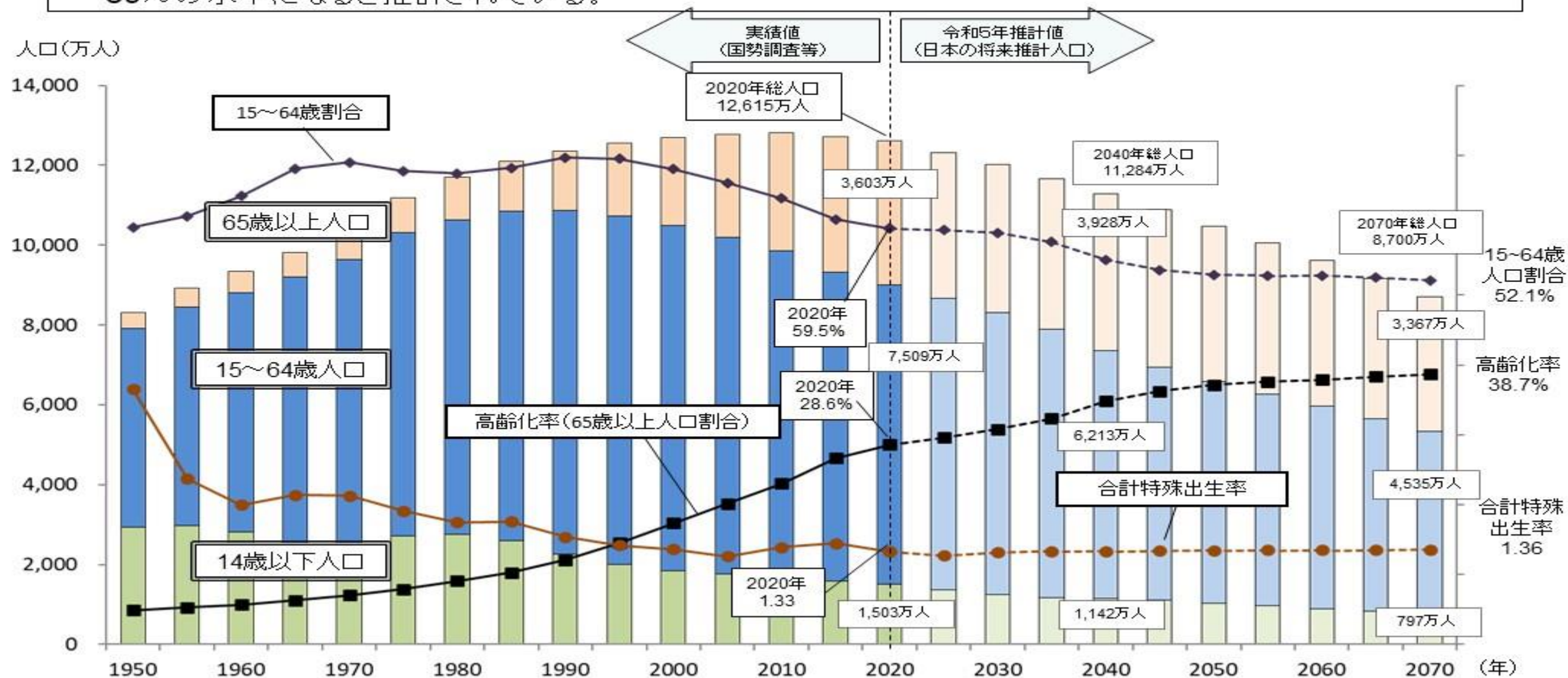
塩竈市立病院 看護部

令和7年10月25日（土）ふれあいエスプ塩竈

地域包括ケアシステム

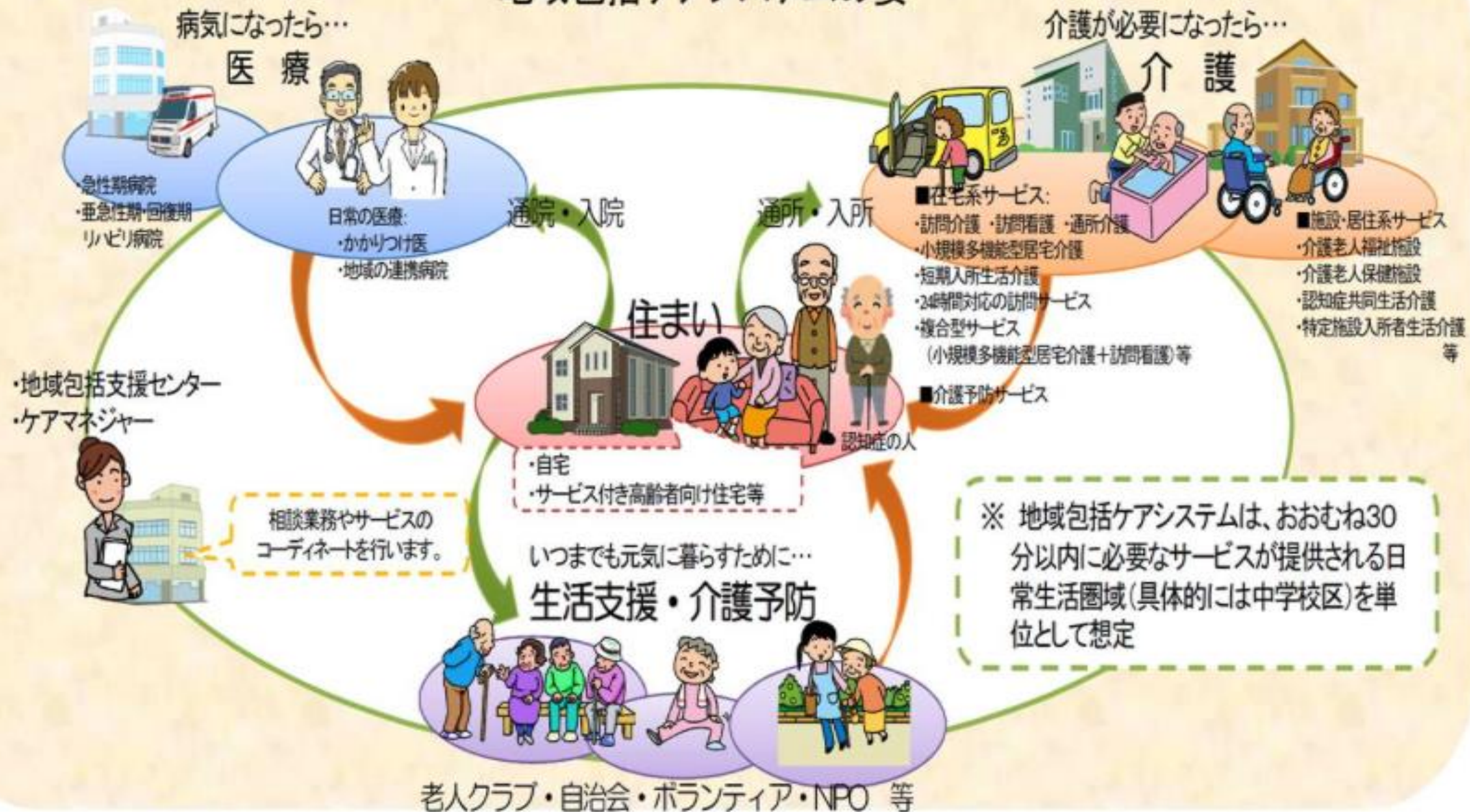
日本の人口の推移

○ 日本の人口は近年減少局面を迎えている。2070年には総人口が9,000万人を割り込み、高齢化率は39%の水準になると推計されている。

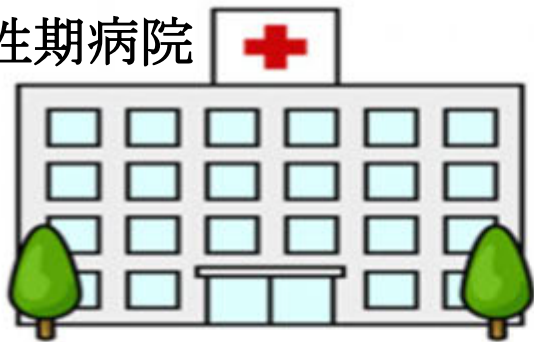


(出所) 2020年までの人口は総務省「国勢調査」、合計特殊出生率は厚生労働省「人口動態統計」、
2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」「(出生中位(死亡中位)推計)」

地域包括ケアシステムの姿



高度急性期病院



病状安定



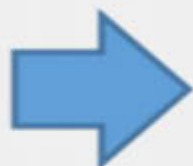
塩竈市立病院



退院



緊急時



レスパイト



- ・医学的治療
- ・リハビリテーション
- ・在宅復帰支援
- ・人間ドック

自宅・施設

人生會議

人生の終わりまで、あなたは、どのように、過ごしたいですか？



もしものときのために

「人生会議」

～自らが望む、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか～

11月30日（いい暮らし・暮られ）は人生会議の日

話し合いの進めかた（例）

誰でも、いつでも、
命に関わる大きな病気やケガをする
可能性があります。

命の危険が迫った状態になると、
約70%の方が、
医療やケアなどを自分で決めたり
望みを人に伝えたりすることが、
できなくなると言われています。

自らが希望する医療やケアを受けるために
大切にしていることや望んでいること、
どこでどのような医療やケアを望むかを
自分自身で前もって考え、
周囲の信頼する人たちと話し合い、
共有することが重要です。



もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、
前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組を
「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」
と呼びます。

あなたの心身の状態に応じて、かかりつけ医等からあなたや
家族等へ適切な情報の提供と説明がなされることが重要です。

あなたが
大切にしていることは
何ですか？

あなたが
信頼できる人は
誰ですか？

信頼できる人や
医療・ケアチームと
話し合いましたか？

話し合いの結果を
大切な人たちに伝えて
共有しましたか？

心身の状態に応じて意思は変化することがあるため
何度でも 繰り返し考え 話し合いたしましょう

このような取組は、個人の主体的な
行いによって考え、進めるものです。
知りたくない、考えたくない方への
十分な配慮が必要です。



詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html



塩竈市
しおが
ま
塩竈市

これまでの自分から
これからの自分へ

私のエンディングノート

形も色も人それぞれ、
人生の積み重ねを振り返り
「自分らしい生き方」を設計する



人生会議はなぜ大切？

(A C P : アドバンスケアプランニング)

1. あなたの思いが大切にされます
2. 家族の負担を減らせます
3. 医師や救急隊とも、よりよい関係を築けます

その人らしさを大切にした医療

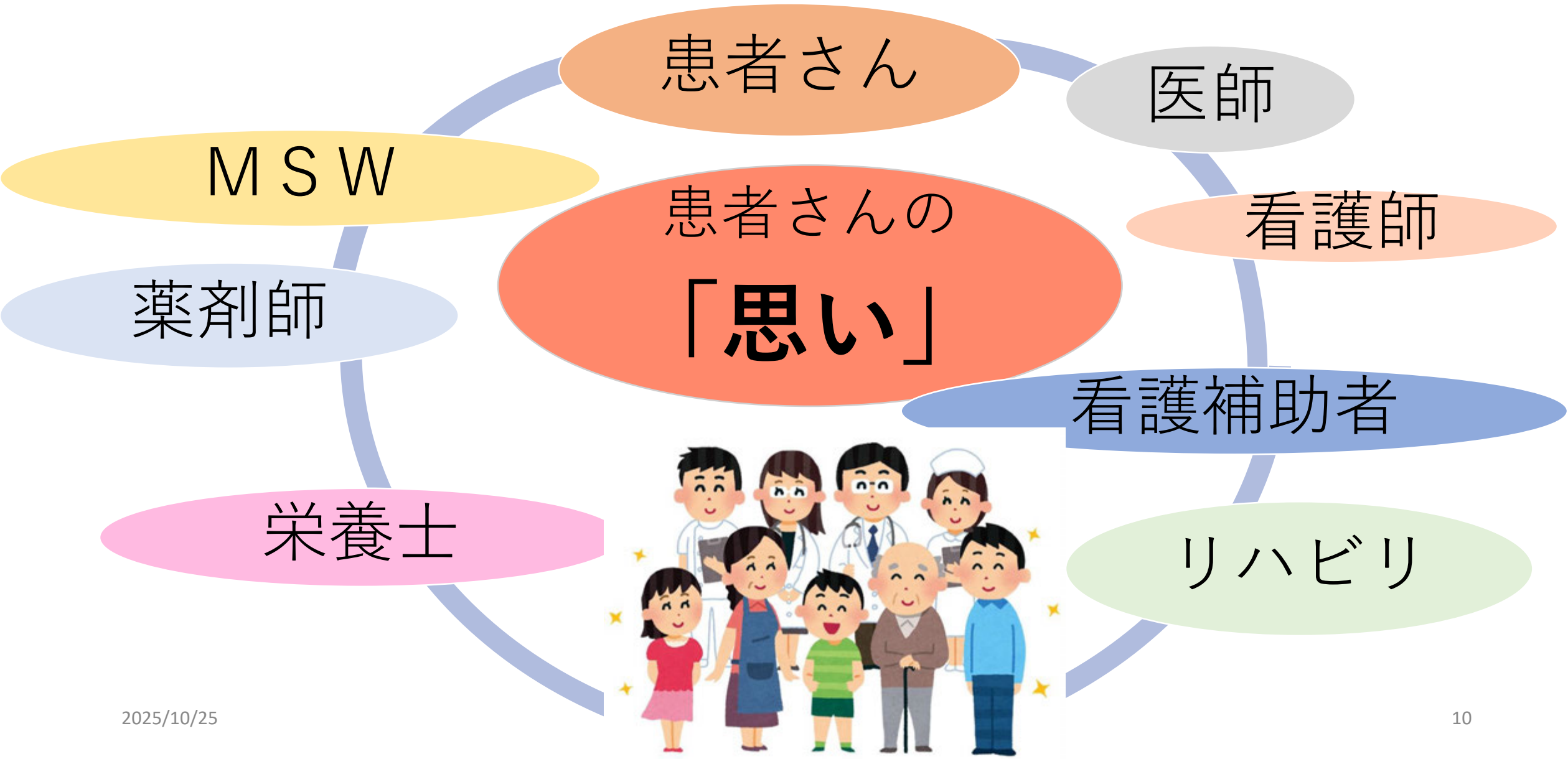


地域包括ケア病棟看護師のしごと = 退院支援

- 生活の視点を持ち、退院後の暮らしを見据えて看護する
- 多職種・地域の専門職と協働して退院を調整する
- 幅広い知識を持ち、患者個々の疾患に合わせて看護する



「チーム医療」でああなたの思いを実現



在宅医療



残された時間、その人の持てる生命力・生活力が最大限に発揮できる環境を整え、暮らしを最期まで支援します

*** 人とのつながりが、
その人らしい暮らしを支える**



看護が進むべき方向性は2040年 も変わらない

- 病気をみる「医療」の視点だけではなく、生きていく営み『**生活**』の視点をも持って“その人を見る”



新しい看護提供方式の導入：「セル看護提供方式」